



寄ろう会 委員長
野田 敏廣 さん (国東町見地)

市の地域支え合い活動に開始当初から参加。「あらたに会」の会長も務めています。

国東市社会福祉協議会
宮田 太郎 さん

社会福祉協議会の「生活支援コーディネーター」として、地域支え合い活動や「寄ろう会」を担当。



国東市地域支援サポーター
武井 啓江 さん (国見町岐部)

東京都から国見町に移住。民宿「大輪」を経営。「大輪」の活動にも参加しています。

国東市地域支援サポーター
越名 秀樹 さん (武蔵町手野)

愛知県から武蔵町に移住。本職はデザイナー。「武漢の会」の役員も務めています。

“寄ろう会”の誕生で地域づくりに取り組む関係者が一つに

野田さんと宮田さんは、地域支え合い活動や「寄ろう会」の運営に当初から関わってきました。平成28年に2団体で始まった地域支え合い活動は、現在6団体まで増加。国から表彰されるなど、活動は高く評価されています。「寄ろう会」の参加団体が市内に広がる中、誰もが住みやすい地域づくりを目指す取り組みについて、お二人に思いをお聞きました。

地域支え合い活動が始まった経緯

野田さん 私が住む上国崎地区は、市内でも特に高齢化率の高い地区です。そうしたことから、市から地域支え合い活動を行うモデル地区に選ばれ、「あらたに会」を設立しました。「あらたに会」では、カフェや食事会、生活支援、買い物支援など、さまざまな活動を行っています。

宮田さん 高齢化で介護ニーズが高まる一方、国

ウェブサイトで豊かな“つながり”を感じる暮らしを発信

暮らしの豊かさにひかれて、国東市に移住した武井さんと越名さん。地域の地域支え合い活動に参加していたところ、社会福祉協議会から「国東市地域支援サポーター（以下、サポーター）」に任命され、移住者の視点を生かした地域づくりに取り組んでいます。今回、サポーターとして「寄ろう会」のウェブサイトと周知ポスターの制作に深く関わったお二人に、思いをお聞きました。

“寄ろう会”のウェブサイト制作した理由

武井さん 「大輪」の活動に参加するようになって、「団体の活動の情報発信」「団体間、スタッフ間の情報共有」「活動継続のための自主財源の確保」といったことに本格的に取り組む必要性を感じていました。そこで、こうした問題を解決するためにサポーター連絡会で提案したのが、「寄ろう会」の

ウェブサイト制作です。**越名さん** 今の時代、情報発信にインターネットは必須です。高齢者こそ、インターネットを避けるのではなく、むしろ積極的に触れてもらう機会が必要だと思いました。ウェブサイトの開設に合わせて高齢者向けの「スマホ教室」を始めたのも、そうした思いからです。

ウェブサイトやポスターの反応について

越名さん ウェブサイトの周知ポスターは、「しっかりと注目される」ことを意識して作っています。そのため、「のどかな風景にスマホを持つ高齢者」という意外性のある写真を掲載しました。ポスターを通じて、多くの方にウェブサイトに興味をもってもらえたいです。

武井さん ウェブサイトによる情報発信の取り組みについては、国などから賞もいただき、手応えを感じています。今後高齢化が進む中で、インターネッ

財源不足による社会保障サービスの低下が心配されています。そこで、住民同士の支え合いによって公的サービスを補おうと、地域支え合い活動が始まりました。地域団体、行政、社会福祉協議会の3者の連携によって、活動が行われています。

これまでの活動を振り返って

宮田さん 行政が決めた活動を地域が行うのではなく、地域が決めた活動を行政が支援する……。これが地域支え合い活動の特徴であり、今日までうまく機能している要因だと思っています。視察や表彰を受けることも増え、団体のモチベーションもだんと高まっているように感じますね。

野田さん これまでは、同じ上国崎地区でも、例えば見地と成仏の人が一緒に集まることはありませんでした。今では活動を通じて、谷が一つになった感覚があります。「地域の

の活用が地方の生命線になってくるでしょう。ウェブサイト開設の機会に、インターネットに親しんでいただきたいと思います。

サポーターとしての今後の抱負

武井さん 国東に移住して、人や自然との“つながり”を感じながら暮らせる幸せを実感しています。このつながりを、多くの方に感じてほしい。そして、より豊かに楽しく地域に住み続けられるよう、活動を広げていきたいです。また、将来はインターネットを活用した新たなシステム作りにも取り組みたいと思っています。

越名さん 「寄ろう会」の良いところは、住んでいる地域を超えて、人々の“つながり”ができること。そして、ウェブサイト開設で、つながりはより広がっていくと思います。サポーターとして、「寄ろう会」の情報発信のお手伝いをこれからもしていきたいです。

“寄ろう会”の展望について

野田さん 地域支え合い活動を行っている団体に、地域活性化活動を行っている団体も加わって、「寄ろう会」の体制はより充実しました。これから力を入れていきたいのは、地域外との交流や移住者の受け入れです。ウェブサイトを活用しながら、「寄ろう会」で結束して取り組んでいきたいです。

宮田さん 行政も地域も含め、「地域を良くしたい」という思いは同じなのに、みんながまとまって地域づくりに取り組めていないことが長年の課題でした。しかし、「寄ろう会」の誕生によって、関係者は一つになり始めています。この流れに勢いをつけ、市全体が盛り上がるよう、応援していきたいと考えています。